

平成28年度事務事業評価シート(27年度実績)

◎基本情報

事務事業名	特定健診・特定保健指導事業		担当部署	健康福祉部 保険課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	高齢者の医療の確保に関する法律 鳴門市特定健康診査等実施計画 鳴門市保健事業実施計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業 期間	開始	平成	20年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なると			終期	未定
(小項目)		社会保障				
施策	8	国民健康保険制度の円滑な実施				
基本事業	3	特定健診・特定保健指導の推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理 ①特定健診の対象者は、国民健康保険の被保険者であって、40～74歳の者 ②特定保健指導の対象者は、特定健診受診者の内、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の方														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	特定健診を受診し、必要に応じて特定保健指導を利用することにより、メタボリックシンドロームの該当者・予備群の方の生活習慣病予防や重篤化予防を図る。														
事業計画	27年度に何を計画していたか	第2期鳴門市特定健康診査等実施計画に基づき実施する。 広報なると、テレビ鳴門のほか、あらゆる媒体を活用し、被保険者への健康意識の高揚を図るとともに、未受診者への個別訪問等により特定健診・特定保健指導の受診を呼びかける。 巡回健診バスによる特定健診に頸部エコー検査、健康づくり室所管のがん検診を組み合わせ、被保険者に魅力ある健診を実施する。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>特定健診受診率</td> <td>45</td> <td>50</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>60</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位	特定健診受診率	45	50	55	60	60	%
指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位										
特定健診受診率	45	50	55	60	60	%										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	特定健診対象者に対して、7月に特定健診受診券を送付し、受診を促した。 受診券発送時における受診勧奨リーフレットの同封や広報なると、他課イベント等各種媒体の活用、大型商業店舗でのPRや個別訪問により受診勧奨を行った。また、個別訪問による受診勧奨にあたっては、受診意欲の高揚につながるよう、使用するパンフレットに工夫を講じた。 頸部エコー検査を組み合わせ巡回健診バスによる特定健診の実施を、昨年度の年3回から5回に拡大した。うち2回はがん検診と同時実施し、利便性の向上、健診の充実に努めた。																																																					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他																																																						
<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>26年度実績</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度目標</th> <th>29年度目標</th> <th>30年度目標</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>特定健診受診者数</td> <td>3,219</td> <td>3,343</td> <td>6,741</td> <td>7,409</td> <td>7,409</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>特定保健指導利用者数</td> <td>216</td> <td>—</td> <td>625</td> <td>687</td> <td>687</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>成果指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>特定健診受診率</td> <td>28.2</td> <td>29.5</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>目標達成率(実績/目標)</td> <td colspan="2">59.0</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>			指標名	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位	活動指標							1	特定健診受診者数	3,219	3,343	6,741	7,409	7,409	人	2	特定保健指導利用者数	216	—	625	687	687	人	成果指標								特定健診受診率	28.2	29.5	—	—	—	%		目標達成率(実績/目標)	59.0		—	—	—	%
指標名	26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位																																																	
活動指標																																																							
1	特定健診受診者数	3,219	3,343	6,741	7,409	7,409	人																																																
2	特定保健指導利用者数	216	—	625	687	687	人																																																
成果指標																																																							
	特定健診受診率	28.2	29.5	—	—	—	%																																																
	目標達成率(実績/目標)	59.0		—	—	—	%																																																
今年度の進捗状況	未達成	事業全体の進捗状況	未達成																																																				

(千円)

財源内訳	平成27年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		11,742	9,318	0	0	26,551	47,611
		全体予算額		11,350	9,115	0	0	27,146	47,611
		決算額		11,099	9,115	0	0	9,616	29,830
	繰越額		0	0	0	0	0	0	
	人件費		正規職員(6,859千円/人)	臨時職員(2,071千円/人)	総人件費		総事業費		
		2.0	1.0	15,789		45,619			

【事務事業名：特定健診・特定保健指導事業】
(千円)

事業費推移	年度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費	29,147	29,830	51,928	56,370	56,370
	うち一般財源	10,741	9,616	29,342	31,764	31,764
	人件費	8,901	15,789	8,930	8,930	8,930
	総事業費	38,048	45,619	60,858	65,300	65,300

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		特定健診の受診率向上のために、勧奨手法等のさらなる工夫は必要である。
	効率性	B:概ね効率的だった		県下保険者での受診券作成の共同発注や特定保健指導の健康づくり室への執行委任など経費削減等は図られている。
②成果に対する評価	指標名	特定健診受診率		受診率は若干ではあるが増加したものの、目標には届かなかった。
	目標	50.0	%	
	実績	29.5	%	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		C		受診率は若干ではあるが増加したものの、目標には届かなかったことからC評価としたい。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	国民健康保険等各保険者に実施が義務化されているが、被保険者には義務化されていない制度である。生活習慣病は初期では自覚症状がないこと、現に生活習慣病治療中であっても健診対象となることなどから、受診の必要性が理解されにくい。 個別訪問による受診勧奨については、訪問できる曜日・時間帯の制約があるため、被保険者との接触率が低い状況となっており、若年層になるほど顕著である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	2
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	年齢等から在宅率の高い曜日・時間帯を考慮したコールセンター方式による受診勧奨の実施により、被保険者との接触機会の確保を図るなど受診意欲の高揚につながるような勧奨を行うとともに、医療機関等の協力を得ながら、巡回バスによる健診の多様な会場設定等特定健診を受診しやすい環境を整えていく。			
	平成29年度	勧奨手法の研究、工夫により受診率向上につなげたい。			